

## 令和2年度 第1回総合教育会議

開催日時：令和3年2月15日（月）13：30～14：30

場所：岡垣町役場新館2階庁議室

出席者：

<岡垣町総合教育会議構成員>

町長 門司晋、教育長 佐々木敏幸、教育委員 花田悦子、教育委員 細山田直美、教育委員 占部義和、教育委員 福山康憲

<事務局>

企画政策室長 高山昌文、企画政策室課長補佐 早川篤志、教育総務課長 中山朝雄、教育総務課課長補佐 山田貴志、生涯学習課長 神谷昌宏

議題：

- (1) 教育大綱の改定について

議事録

### 1. 開会

- (1) 町長あいさつ

門司町長：皆様こんにちは、町長の門司晋です。先月の1月21日に岡垣町長に就任いたしました。どうぞよろしくお願いたします。これからは、人口が減っていくことや少子高齢化が進むこととなり、どうやってこの町を持続させていくかということを優先しなければならないと考えています。その中で、絶対変えられないものと新しいものを取り入れるものがあり、教育の現場でも変えられない部分と新しいものを取り入れるべきものもあると思います。タブレット端末の導入なども変わった部分で、今の子どもたちには必要なものであろうと考えています。そのようなことを、この総合教育会議でお話しできればよいと考えていますし、今回は、その基本となる教育大綱の改定を提案させていただきますので、ご審議の程よろしくお願いたします。コロナウイルスの件です。皆さんもご存じだと思いますが、学校の中でも感染者が確認されましたが、幸いにも学校閉鎖や学級閉鎖などに至らなかったのは、不幸中の幸いであったと思います。今は、4月からのワクチン接種に向けて準備をしているところですが、小中学生には、今のところワクチン接種とはなりませんので、今までと同様、手洗い、うがい、アルコール消毒、マスクの着用を引き続き子どもたちに訴えていきたいと思しますので、教育委員会の皆さんもご協力お願いたします。

## 2. 議事

### (1) 教育大綱の改定について

教育総務課長（中山）：教育大綱の改定案について説明（概要は次のとおり）

- ・ 計画期間は、令和3年度から令和7年度の5年間
- ・ 基本理念や重点目標などは、基本的には現在の大綱の内容を継承している
- ・ 各重点目標における施策について、現在の状況に沿った表現に修正

企画政策室長（高山）：教育大綱の改定案の説明がありました。これより質疑の時間とします。

占部委員：大綱の内容については、異論はないが、文章の表現等の内容を再度検討していただきたいと思います。

花田委員：岡垣町の教育での大切なものは残しつつ、ICTを活用した教育などの新しいものも網羅されている。郷土愛を育む体験活動なども盛り込まれており評価できると思います。校区の再編の検証とあるが、検討しているのですか。

企画政策室長（高山）：いつからというもの、現時点では決まっていないが、将来的にはせざるを得ない状況だと思えます。今後も人口が減っていきますし、子どもたちの人数も減ることが予測されますので、このまま5校の小学校のままとはなりにくいと思えます。急に、統廃合しますとなると混乱しますので、早い時期から検討していった方が良いのではと考えています。

花田委員：内浦、戸切などの小規模校は、児童数が少ないことで、このコロナ禍の中でも体験活動等が実施できたとのことで、大規模校にはない良さであると感じました。今後、統廃合を検討する中で、このような岡垣らしい教育についても議論が必要であろうと思います。

佐々木教育長：内浦、戸切を残してほしいという地域の方の声は多い状況。校舎の建て替え時期も含めて検討する必要がある。

門司町長：母校を残したいという方、子どもたちの教育を考えて複式学級を避けたいと考える方など、様々な意見がある。また、これまでの5校区という伝統もある。今から子どもたちが減ったらどのような事態になるかを少しずつ考えてもらいたいと思います。

企画政策室長（高山）：皆様のご意見を踏まえまして、教育大綱の改定案について、3月の議会で説明します。以上で、総合教育会議を閉会します。